

1 がっきにがんばったこと

3年松組 北岡 ちえり

わたしが1学期がんばったことは、ひまわりとハウセンカとワタとピーマンを育てたことです。

3年生は、理科の授業でこの4つのしょく物を育てています。5月にたねをまいてから、みんなで育ててきました。はじめは、ものすごく小さかったのに、みんなでちゃんと水やりや草とりをしたので、くきが太くなったし、葉も大きくなりました。とくに、ひまわりがとても大きくなりました。ハウセンカは、葉がたくさん生えています。今は、どのしょく物も花がさいたり、つぼみがついたりしています。花がさいたときは、すごくうれしかったです。みんなで、がんばって育てたから、しょく物もしっかり育ったんだなと思いました。



これからも、しょく物が大きくなるように、たくさんお世話をしていきたいです。かれないように、やさしいおうえんの言葉をたくさんかけてあげたいです。

わたしのがんばったこと

3年竹組 村上琴音

わたしが1学期がんばったことは、三つあります。一つ目は、算数です。わたしは算数が前まではにがてでした。3年生では、難しい問題がたくさんあるので、家に帰ったらたくさん練習しました。わり算が一番にがてでした。なので、わたしはまず、自分の考えをしっかりとつとということを大切にしました。自分の考えをもつことができると、なぜその答えになるか分かりました。テストでは、わり算以外の文章問題をがんばりました。わり算もにがてだけど、文章問題が二番目ににがてでした。文章問題は、筆算を使ってときます。筆算も少し難しいけれど、たし算とひき算がとけるように練習しました。

二つ目は、あいさつです。わたしはあいさつの声が小さいので、がんばってあいさつをしています。今までは、あまりあいさつをしなかったけれど、あいさつ運動があつてからあいさつをもっとしようと思いました。そして、大きな声で「おはようございます」と言



ってみたら、相手はにこっと笑って「おはようございます」と返してくれました。わたしは、あいさつをすると気持ちが良いなと思って、これからもあいさつを続けようと思いました。

三つ目は、クラスのみんなと協力することです。わたしは音楽係をしています。二人でかごの荷物を運びます。その時にわたしが、荷物を落としたら、途中まで持ってくれます。やさしいなとわたしは思いました。係以外でも、だれかがこまっていたら、助けてあげようと思いました。

わたしはこれからも、べんきょうや協力することを大切にしたいです。

1学期がんばったこと

6年松組 伊藤 柚葉

私が1学期がんばったことは、水泳の授業です。私はこの授業で、努力はむだにはならないということを学びました。

もともと泳ぐことが私は苦手でした。5年生のときは50mがぎりぎりでした。どれくらい泳げるかによって水泳のクラスが決まるのですが、私はいつも下のほうのクラスにいました。そんな私が水泳をがんばろうと思ったきっかけは、ペアの子とのプールでの交流会でした。6年生が1年生をおんぶして深いプールに入ると聞き、今のままではいけないなと思いました。大事な命を預かってプールに入るわけなので、私がおぼれたらペアの子もおぼれてしまいます。特にペアの子は1年生なので足もまったくつきません。責任重大です。そのことをお母さんに話したら、

「今のままでは、1年生に安心してプールを楽しんでもらえないね。」

と言われてしまいました。自分でも分かっていたけれど、人に言われると、なおさら「がんばらなければいけないな」と思えました。

それからは、いつもより先生の話をよく聞き、何度も練習しました。そうしたら、練習しているうちに少しずつ距離がのびてきました。自分の理想に一步近づけた気がして、とてもうれしかったです。なので、目標も少しずつ上げていきました。

ついに測定するとき。今まで練習してきたことを思い出して、測定にいどみました。すると、何と100mも泳ぐことができました。とてもうれしかったし、自分でも信じられませんでした。これなら1年生をおんぶしても大丈夫だなと思いました。

それからすぐに、ペアの子との交流会の日がやってきました。1年生も楽しみにしていて、プールがどれくらい深いかなどを教えてあげました。そしてプールに入るとき、おんぶをしてあげたら、とても喜んでくれました。深いところでは、1年生の子の顔が水につからないように気をつけながら進みました。と中から楽しくなってきた、1周があっという間に感じました。そのあと、低学年用のプールにも入り、終わったときにペアの子が笑顔で手をふってくれました。その笑顔を見られてとてもうれしかったです。

このことがあって、私はプールが好きになりました。また、1年生の笑顔が見られたので、努力はむだにはならないなと思いました。ことわざに「若いときの苦労は買ってでもせよ」とあるように、これからも努力をおしまずに過ごしていきたいと思います。そして、たくさんの笑顔をつくりたいと思います。



私が1学期に頑張ったこと

6年竹組 佐藤 桜

私は、6年生になってたったの1学期間でいろいろな体験をしました。1年生との交流や地域との関わりなど、頑張ったことはいろいろありますが、その中で二つ発表します。

一つ目は社会科です。6年生になって社会科に初めて歴史の学習が入ってきました。私は、あまり日本の歴史に興味がなく、地理の方が好きだったので、一番初めの授業はとても苦痛でした。けれど、苦手だからといってなげ出すわけにはいかないので、家で予習のために教科書を読んだり、授業で学んだ重要なところをノートにまとめたりしていったら、どんどん歴史に興味をもちはじめ、いつの間にか好きになっていました。あんなに苦手だった教科が好きになるとは思ってもいなかったので、とても驚きました。

二つ目は1年生との交流です。4・5年生でも低学年との交流がありましたし、通学団の中にも1年生がいるので少々自信はありました。でも、いざペアの子と会ってみると、どのように話しかければよいか分からず、頭の中が真っ白になってしまい、すごくきんち



ょうしてしまいました。同時に、最高学年である自分から話ができない情けなさもありました。「どうして話ができないのだろう」と考えてみたら、その子は初めて会う子で、通学団で一緒にいるようななじみが、あまりないことに気付きました。「じゃあ、なじみがなくても仲良くすればいいんだ」ととっさに思いました。それから、その思ったことを行動にできるようにして、もう一度交流があったときに、前回よりはスムーズに会話のできたので、うれしかったです。

これらのことから、こつこつと勉強して興味をもつことと、相手に合った会話をする大切さにあらためて気付きました。小学校生活も、残り少なくなってきましたが、これらのことを大切にしていきたいと思います。